おかがき

ふれあいネットワーク

社協だより

平成27年9月25日発行
157

思いやり つなげて みんな幸せに

あなたのやさしい気持ちが

かたちを変えて

いろんな人を支える。

はじまります。地域に

ねざした

共同募金

全国一斉スタート
10月1日 ▶ 12月31日

みんな幸せに」10月1日から共同募金

平成27年度目標額：5,578,214円

赤い羽根共同募金は、地域福祉に関わる事業を安定的に継続して実施するために、前年度の実績が今年度の目標額となります。

そして、今年度皆さんから寄せられた募金は、来年度の地域福祉に関わる事業に活用される仕組みです。あなたのやさしさが、きっと、いつまでも安心して暮らせる町の支えとなるはずです。みなさんのご協力をお願いします。

種類	募金額（円）	割合
戸別募金	3,794,850	68%
法人募金	1,026,500	18%
その他の募金	756,864	14%
合計	5,578,214	100%

平成26年度の募金実績

戸別募金
自治区の協力を得て、1世帯あたり500円を目安に募金への協力をお願いしています。

職域募金
企業や官公庁、福祉施設の職員の皆さんにご協力いただいています。

街頭募金
駅前やスーパーの入口などで募金への協力をお願いしています。

【街頭募金のおしらせ】

■10月1日(木)
11時から：ハローデイ
16時から：イオン・ハローデイ
17時から：海老津駅

■10月18日(日)
10時から15時：まつり岡垣

法人募金
民生委員・児童委員の皆さんの協力を得て、担当地区の法人に訪問していただいています。社会貢献活動として、毎年約300の法人から募金が寄せられています。

■協力法人には、ステッカーを配布しています

■法人募金には、法人税の優遇措置が適用されます

あなたの町の 赤い羽根協力店

学校募金
福祉教育の一環として、ポスターの掲示や募金箱の設置をお願いしています。

その他
寄附金付き自動販売機、寄附金付き自賠責保険へのご協力とともに、店頭や受付に募金箱の設置をお願いしています。

増改築・リフォーム
介護保険住宅改修の事なら
地域に密着！シンコウ住宅にお任せ下さい！
貴方の夢を形に造る
夢創造社 シンコウ住宅
TEL&FAX. 093-283-0892（おやくにたちます）
〒811-4204 福岡県遠賀郡岡垣町大字手野894-2

社会福祉法人 日本傷痍者更生会
特別養護老人ホーム 恵の家
●いこいの里デイサービスセンター
●恵の家ショートステイ
●恵の家居宅介護支援事業所
ケアプランの作成、高齢者の介護、何でもお気軽にご相談下さい。
岡垣町高倉578-1（いこいの里横）
☎282-0021 FAX 282-0026

「思いやり つなげて

昨年度皆さんから寄せられた募金は、
今年度、このように活用されています。

児童・青少年へ
1,057,000円（18.9%）
・中学生ヘルメット購入補助
・修学旅行費補助　・特別支援学級補助など

障がい者へ
914,000円（16.4%）
・障がい者ふれあい交流事業
・おもちゃ図書館運営事業など

高齢者へ
793,000円（14.2%）
・ひとり暮らし高齢者のつどい
・送迎サービス事業　・男性料理教室など

母子・父子へ
240,000円（4.3%）
・母子会活動補助など

岡垣町母子寡婦福祉会
社会見学や遠賀郡内の
交流会等もあります。
一緒に交流しましょう！

福祉育成・援助へ
1,349,000円（24.2%）
・社協だよりの発行
・学校や地域での福祉体験など

県内の福祉へ
861,214円（15.5%）
・大規模災害準備金　・福祉施設の整備など

募金事務費へ
364,000円（6.5%）
・チラシの作成　・資材の購入など

社協会長表彰

8月22日　すぱーく岡垣

永年にわたり社会福祉の増進に努められた40人の皆様と、多額の寄附をされた1人・1団体に、社会福祉協議会小八重会長から表彰状等を贈呈しました。

表彰状

◇社会福祉事業特別功労者
○宮内あゆみ　○石松貴代子
○益田由美子

感謝状

◇社会福祉事業協力者
○山田美佐子　○齋藤　廣子
○寺嶋　順子　○井手スミ子
○荒木キヌヱ　○夏田冨士美
○山形　英雄　○吉留ヒロ子
○花田キミ子　○岡田　達雄
○菊地惠美子　○末次　稔
○河津　衛　○森脇　麗子
○中山　靖子　○井手佐智子
○古賀　淑子　○原田　英二
○貞平　孝人　○白水　秀樹
○渡邉　功　○江崎　義憲
○森山　祐助　○花田　文明
○日隈　勝己　○刀根　健輔
○友川　嘉子　○米澤　正裕
○浦本壽滿子　○柳田スミヱ
○吉田タミ子　○内田　艶子
○刀根　道代　○岩﨑久美子
○山内　静子　○山本壽賀子
○匿名希望

◇多額の寄附をされた個人又は団体
○白橋　博子
○岡垣町民チャリティゴルフ大会実行委員会

（順不同・敬称略）

できます！

ご近所助け合い

―平成27年度地域コミュニティモデル事業―

日常のちょっとした困りごとに対して、ご近所で助け合う「生活支援」の実現に向けた地域コミュニティモデル事業がスタートしました。今回は、基礎的な知識を学ぶための講座が終了しました。

①モデル自治区講座受講
→②井戸端会議
→③支え合いマップの作成
→④ゴミ出し等生活支援活動の会則作成
→⑤自治区長、民生委員等との情報の共有
→⑥自治区での活動を公表
→⑦生活支援活動を全自治区へ広めていく

地域コミュニティモデル事業のながれ

ご近所で生活支援活動に取り組むためには、自治区の課題（一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯はどこか、既に行われている助け合いがあるか等）をきちんと把握することが大切です。今回は、「支え合いマップ」の考案者である木原孝久氏をお招きし、自治区の課題を把握して、その解決に取り組むための仕組みづくりについて学びました。

実際にモデル自治区を対象として行ったマップ作りの演習では、活発な意見交換から自治区の課題が次々と〝見える化〟され、参加者からは、「地図に書いてみることで、地域に足りないことが一目で分かるようになった」「思っていた以上に既に助け合いが行われていた。この関係を活かして、新しい活動にも取り組んでみたい」との声が聞かれました。

ご近所だからこそわかる情報がある

木原氏からは、参加者に向けて「マップを作って終わりではなく、把握した課題に対して具体的な仕組みを作って取り組むことが重要。ご近所だからできることが必ずある」とメッセージが送られました。

今後は、全てのモデル自治区の中で支え合いマップを作成し、自治区の皆さんと共に、課題に対する仕組みづくりを行います。社会福祉協議会は、情報提供や計画づくりを支援していきます。

支え合いマップから抽出した課題と解決策の例

■高齢者が多く、移動が困難な人が多い

→①相乗りや「ついでに買い物」をしてあげられる人材を発掘する

→②家からバスの停留所が離れている人が多く、特定の場所で手を挙げたら停まってくれるように町に依頼する

→③サービス付き高齢者住宅ができたので、施設の社会貢献として車を活用させてもらうよう相談してみる

ただいま製作中

生活支援活動マニュアル集
支え合いマップ作成ＤＶＤ

11月20日（金）にいこいの里で開催する「お互いさま命のネットワーク活動シンポジウム」において、ＤＶＤの上映と、各自治区へのマニュアル集の配布を予定しています。

※シンポジウムの詳細は次号で紹介します

お役に立っていますか？

輝き続けるあなたを応援!!

☎281-2011

カイゴ博士

介護保険制度改正と地域のつながり

措置から契約へと移行して15年を迎えました。介護保険制度は利用者が自らサービスを選択し利用できる制度です。平成18年に介護保険法の改正があり、地域包括支援センターが市町村などに設置され、町民の皆さまが地域で安心して生活できるように地域支援事業が実施されました。今年の4月からはその地域支援事業の一部が改正され、新たな介護予防・日常生活支援総合事業（以下、新しい総合事業）が始まっています。

今後、社協職員としてどう新しい総合事業に取り組めばよいのか、太郎くんと花子さんがカイゴ博士と話し合いました。

今まで介護保険制度は何回か改正されているけど、今回は、何が変わったの。

全国で同じように利用できる介護保険サービスの一部を市町村が担うみたいよ。

だったら、今までの介護保険制度が大きく変わってしまうっていうことになるのかしら。

いや、そうではないぞ。介護保険サービスの利用については、実際にはそれほど変わっておらんのじゃよ。要介護認定を受ければ今まで通りサービスを利用することができるぞ。要支援1・2の高齢者で言えば、今までの訪問介護サービスと通所介護サービスが、「新しい総合事業」に変わっただけじゃ。

訪問介護とか通所介護とかって何だか難しいわね。なぜ、その2つが変わったの。

訪問介護も通所介護もサービスがいくつかに分類され、住民参画のサービスが創設されたんだ。地域の力も取り入れて地域社会のつながりを再構築するためだよ。詳しくは、博士お願いっ。

ハハハッ。よかろう。そもそも新しい総合事業の目的は、地域の実情に応じて住民やボランティアなど多様な主体が参画し、多様なサービスを充実することで地域の支え合い体制づくりを推進することじゃったな。高齢でお手伝いがないと生活できないけれど健康で介護保険が認定されない人や、自分の身の回りのことは何とかできるけれど少し支援が必要な人は、地域の力を借りれば地域で十分に生活できるからのう。

そういうことなのね。ということは、地域支援事業について何がどう変わったのか、もっと知る必要があるわね。

そのとおり。では次号で、地域支援事業について説明するぞ。

太郎くん　花子さん
【社会福祉協議会 職員】

相談

◆法律相談◆

とき 10月9日（金）
23日（金）
午後1時30分～4時30分
（1人30分・1日6組まで）

ところ いこいの里

対象者 町内在住の方

※予約制。相談月の前月から受け付けします。お早目に社会福祉協議会へお申し込みください。

◆心配ごと相談◆

とき 10月16日（金）
午後2時～4時

ところ 東部公民館

対象者 町内在住の方

※事前予約は不要です。

◆総合福祉相談窓口◆

とき 10月13日（火）
27日（火）
午前10時～正午

ところ いこいの里

対象者 町内在住の方

※事前予約は不要です。電話での相談は、休館日（第1日曜日と毎週月曜日）を除き、午前8時30分から午後5時15分まで随時受け付けています。

香典返し寄附

次の皆様から香典返しとしてご寄附がありました。厚くお礼を申し上げますとともに、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。

（7・8月受付分まで）

社会福祉協議会へ

○中野眞佐志 様（高倉）
故 中野 佳子 様 53歳
○中山キミ子 様（吉木）
故 村田 博春 様 65歳
○岩崎 直行 様（東黒山）
故 岩崎 徹 様 80歳
○立花 和子 様（東松原）
故 立花 隆男 様 70歳
○石田 安弘 様（東山田）
故 石田 房江 様 84歳
○末友トヨ子 様（戸切百合野）
故 末友 正則 様 79歳
○菟田 富男 様（吉木）
故 菟田 克己 様 97歳
○川原 庸助 様（高尾）
故 川原トモヱ 様 85歳
○森山 浩二 様（西高陽）
故 森山美佐子 様 79歳
○山下 茂治 様（京都郡）
故 山下 茂 様 90歳
○北川 幸子 様（南高陽）
故 北川 省三 様 86歳
○近藤 史江 様（茅原）
故 近藤 文子 様 65歳
○中野 豊美 様（百合ヶ丘）
故 中野 正敏 様 72歳
○小野千恵美 様（高塚）
故 小野 明博 様 64歳
○髙木コズヱ 様（東松原）
故 髙木 秀恒 様 76歳

一般寄附

○金丸歌謡教室 様

みんなで楽しいひと時を
ひとり暮らし高齢者のつどい

75歳以上のひとり暮らし高齢者のふれあい交流を目的に、高齢者のつどいを開催します。

とき 10月26日（月）
午前11時30分から午後2時
対象 ①内浦校区 ②吉木校区
③海老津校区

とき 11月9日（月）
午前11時30分から午後2時
対象 ①山田校区 ②戸切校区

参加者の集計は、民生委員・児童委員の皆さんの協力を得て実施します

一般寄附
ありがとうございます

株式会社溝口産業 様

地域交流センター 様

金丸歌謡教室 様

いってみよう！

隣のボランティア

千草会

活 動 日：第2・4木曜日
活動内容
演芸などで町内福祉施設の訪問
団体人数：23人

いくつになってもね、踊りのときは背筋がしゃんと伸びるんよ！

施設訪問の楽しさは？

― 自分たちが身につけた踊りや歌を楽しみにしてくれる人がいる。それがいちばんの喜びです。私たちの動きに合わせて、自然と手拍子をしてくれたり、歌を口ずさんでくれる姿を見ると、こちらが元気をもらいます。

演芸のよさとは？

― いくつになってもできることです。背筋をしゃんと伸ばし、少しでも長く続けていきたいです。

利用者さんも飛び入り！

参加してわかったココがおすすめ！

平均年齢を聞いて、そのパワーに驚くとともに、いくつになっても人に喜ばれる舞台に立てる姿がとても眩しく見えました。にぎやかで楽しいですよ！

私たちが行ってきました！

岡垣手話の会

やってみようよ！

ボランティア

岡垣ボラ協だより
137号

※ ボラ協とは「ボランティア連絡協議会」の略称です。

編集委員の佐々木です。
７月には、ボラ協に所属する会の会員を対象としたグラウンドゴルフ大会を行い、みんなで気持ちのよい汗を流しました。団体間の交流の大切さをあらためて実感しています。
さて、今回も各団体の地域貢献を他団体からの取材で紹介します。

いってみよう！

隣のボランティア

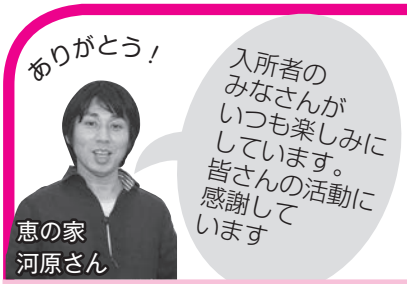
ふれあいの会

活 動 日：第2・4木曜日
活動内容
町内福祉施設利用者の外出支援
団体人数：23人

「みんな、私の好みをよぅ知っちょるんよ。助かるわ」
（利用者談）

外出支援って何をする？

― 施設の入所者の方のお買い物の介助をしています。施設の車に乗ってお店に行き、車いすを押してお目当ての商品を一緒に探します。“安全に”が第一ではありますが、楽しく買い物ができるような介助を心がけています。笑顔に出会える素敵な活動です。



参加してわかったココがおすすめ！

施設で生活されている皆さんが嬉しそうに商品を手に取る光景がほほえましく感じました。顔なじみの関係を築いていることがよくわかりました。

私たちが行ってきました！

調理ボランティアの会

第15回

納涼夏まつり

8/22 すぱーく岡垣

障がい者と福祉ボランティアのふれあい交流「納涼夏まつり」が行われました。
参加者は400名を超え、実行委員からは「多くの皆さんの協力で、障がい者を支援する取り組みがこんなにスムーズに行える岡垣町は素晴らしい！」との声が聞かれました。

認知症サポーター養成講座

この講座は、地域の中に認知症の人と家族への「応援者」を増やし、認知症になっても安心して暮らせるまちを目指しています。岡垣町では、福祉課と社会福祉協議会が連携してその取り組みを広めています。

ふれあいサロン活動や老人会、地域での集まり等でみんなで学んでみませんか？
【問い合わせ】社会福祉協議会
TEL 283-2940

子どもたちもいっしょに学ぼう

子どもたちも、地域での助け合いの大切な一員です。福祉教育の一環として、学校の授業等を活用した認知症について学ぶ機会を広げています。

【問い合わせ】
社会福祉協議会
TEL 283-2940

編集後記

暑さも和らぎ、季節の移り変わりを感じる中、社会福祉協議会に秋の訪れを告げるのは、10月1日から始まる「共同募金」です。
今年の共同募金のキャッチフレーズは「思いやりつなげてみんな幸せに」に決まりました。
〝お互いさま〟の気持ちをもって助け合い、誰もが幸せに暮らせることは、地域づくりのすべてに通じることだと思います。
皆さんの思いやりを、共同募金に託してください。（田之上）

発行者／岡垣町社会福祉協議会　☎093－283－2940
岡垣町大字高倉598－1

この「社協だより」は、赤い羽根共同募金配分金により発行しています。